

# 飯 尾 潤 教授

---

役 職：政策プロフェッショナルプログラム・ディレクター、修士課程 公共政策プログラム副ディレクター（修士課程）

専門分野：政治学・現代日本政治論

学 位：博士（法学）（東京大学）

略 歴：1986年東京大学法学部卒、1992年同大学院法学政治学研究科博士課程修了、同年埼玉大学大学院政策科学研究科専任講師、1993年同助教授、1997年本学助教授、2000年本学教授（現在に至る）。2001-02年ハーバード大学客員研究員。2009-11年本学副学長。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 図 書

単 著

\* 飯尾潤『現代日本の政治』（放送大学教育振興会、2015年、全248頁）  
編・共著等

\* Yukio Adachi, Sukehiro Hosono, and Jun Iio (eds.) *Policy Analysis in Japan*, Policy Press, UK. 2015, 312pages+x

### (2) 雑誌論文（単 著）

\* Jun Iio, “Historical background of policy analysis in Japan” in Yukio Adachi, Sukehiro Hosono, and Jun Iio (eds.) *Policy Analysis in Japan*, Policy Press, UK. 2015, pp.15-25. [peer-reviewed]

\* Jun Iio, “Policy analysis and the policy process in Japanese government”, in Yukio Adachi, Sukehiro Hosono, and Jun Iio (eds.) *Policy Analysis in Japan*, Policy Press, UK. 2015, pp.91-101. [peer-reviewed]

\* 飯尾潤「日本：統治構造改革の到達点と課題」（佐々木毅編『21世紀デモクラシーの課題：意思決定構造の比較分析』吉田書店、2015年、全423頁）第3章、141-186頁

### (3) 学会発表

\* シンポジウムパネリスト「政策研究大学院大学のカリキュラム」日本公共政策学会年次研究大会（高崎経済大学）2014年6月8日

## 2. 助成金等による研究

\* 科学研究費補助金（基盤研究B）「統治構造改革の政治研究」研究分担者

\* 科学研究費補助金（基盤研究S）「政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化」研究協力者

## 3. 教 育

### (1) 講 義

\* 社会科学方法論=質的分析（秋学期）

\* 政策過程論（春学期）

### (2) 論文指導

\* 政策プロフェッショナルプログラム：博士課程12名（主指導12名、うち3名学位取得）

\* 安全保障・国際問題プログラム：博士課程1名（副指導1名）

### (3) 研修事業

- \* 外交官公務員研修

#### 4. 管理・運営への関与

- (1) 委員会
  - \* 研究教育評議会
  - \* 博士課程委員会
  - \* 博士課程 政策プロフェッショナルプログラム・コミティー
  - \* 修士課程 公共政策プログラム・コミティー
- (2) その他
  - \* 政策プロフェッショナルプログラム・ディレクター
  - \* 修士課程 公共政策プログラム・副ディレクター

#### 5. 社会的貢献 (A)

- (1) 他大学・研究所等における活動
  - 非常勤講師
  - \* 放送大学客員教授(「現代日本の政治」授業準備)
  - \* 講義「統治構造の転換と日本政治の可能性」東京大学 EMP 第 11 期 2014 年 5 月 2 日
- (2) 学会等における活動
  - \* 日本公共政策学会理事(6月より)
- (3) 審議会等における活動
  - \* 国土交通省・社会資本整備審議会委員(交通審議会臨時委員)(計画部会)

#### 6. 社会的貢献 (B)

- (1) ジャーナリズムでの発言
  - 活字メディア
    - \* 講演紹介「安倍政権の政権運営と政策の再検討」『秋田さきがけ』2014年4月17日5面
    - \* 時事解説「再建途上の安倍外交：国際環境見定め地道に」(「現論」として共同通信社から配信)『静岡新聞』2014年4月25日19面『岩手日報』2014年4月28日6面など全国各紙が掲載。
    - \* インタビュー記事「政党が民意集約する政治に」(転換期を語る)『信濃毎日新聞』2014年8月3日4面
    - \* 時事解説「問われる調整能力：有権者意向反映を」(改造なぜするの?)『朝日新聞』2014年9月3日朝刊4面
    - \* 時事解説「政策形成の新たな仕組みを：与党に必要な民意集約」(「現論」として共同通信社から配信)『南日本新聞』2014年9月15日6面、『中国新聞』2014年9月20日6面など全国各紙が掲載。
    - \* 発言引用“Political scandals claim scalps of two Japanese ministers”, FINANCIAL TIMES Oct.20, 2014.
    - \* 解説「もともと毎月開催のはずが 党首討論の狙いとは」『THE PAGE』(インターネット解説サイト <http://thepage.jp/>) 2014年11月17日
    - \* 時事解説「政治は『成熟した対話』を実現せよ」『潮』2014年12月号32-39頁
    - \* 発言紹介「村井流どこへ：強気発言得票が源泉」(宮城県知事就任10年目)『河北新

報』2014年11月18日3面

- \* シンポジウム紹介「復興構想の経験学ぶべきは：三大震災の教訓神戸でシンポ」『朝日新聞』（大阪）2014年11月27日朝刊33面
  - \* 発言紹介“Shinzo Abe delays tax rise and gambles on snap election”, FINANCIAL TIMES Nov.18, 2014.
  - \* 時事評論「政策的方向性を判断材料に」（多思彩々：解散・総選挙）『信濃毎日新聞』2014年11月30日7面
  - \* 解説「定数は正と一票の格差をどう考えるか」『THE PAGE』（インターネット解説サイト <http://thepage.jp/>）2014年12月5日
  - \* 時事解説「総選挙で、どう行動したらよいのか、改めて考える」『ポリタス』（インターネット解説サイト <http://politias.jp/>）2014年12月12日
  - \* 発言引用「異論挟まず首相に従う危うさ」『朝日新聞』2014年12月15日朝刊2面
  - \* 紙上座談会「自公 326 議席検証座談会」（山田孝男、野中尚人と）『毎日新聞』2014年12月16日朝刊12面
  - \* インタビュー記事「政権の実績、国民は信任」（衆院選と今後）『公明新聞』2014年12月19日1面
  - \* 時事評論「地域の自主性尊重を」（震災復興検証）『読売新聞』2015年3月2日朝刊31面
  - \* 講演記録「今年の日本政治を展望する」『経済倶楽部講演録』第793号94-143頁（東洋経済新報社、2015年3月）  
電波メディア
  - \* 番組出演 BS フジ「プライムニュース」（解釈改憲どうあるべきか）2014年5月2日
  - \* インターネット番組出演「The Page 生トーク」（衆議院解散総選挙で何が問われるのか）2014年11月25日
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
- \* この間、講演会・座談会・会議出席など10回程度行った。

## 7. その他（特許，学会賞等の受賞など）

- \* 日本公共政策学会 2014年度著作賞（『現代日本の政策体系』に対して）受賞